



# 平成21年3月期 決算説明会

平成20年4月1日～平成21年3月31日

- ダイジェスト版 -

平成21年5月13日(水)

デジタルアーツ株式会社

# 売上区分変更について

---

*DigitalArts.*

# 売上区分変更について

- 売上を「ソフトウェア部分」と「保守サポート部分」で区別して計上しております。
  - ソフトウェア部分と保守サポート部分を区別して顧客に提供する体制が整ったことによります。
  - 平成20年3月期より開始し、平成21年3月期から本格的に通年での適用となります。
  
- 詳細
  - ソフトウェア部分の売上は、従来通り**販売した時点で売上計上。**
  - 保守サポート部分の売上は、**契約月数で案分し売上計上。**

販売時点では売上計上せず、製品利用契約期間で案分し、月単位で順次売上計上していく。

なお、当期の売上高に計上されない保守サポート部分は、貸借対照表負債の部の流動負債「その他」に区分計上されている。

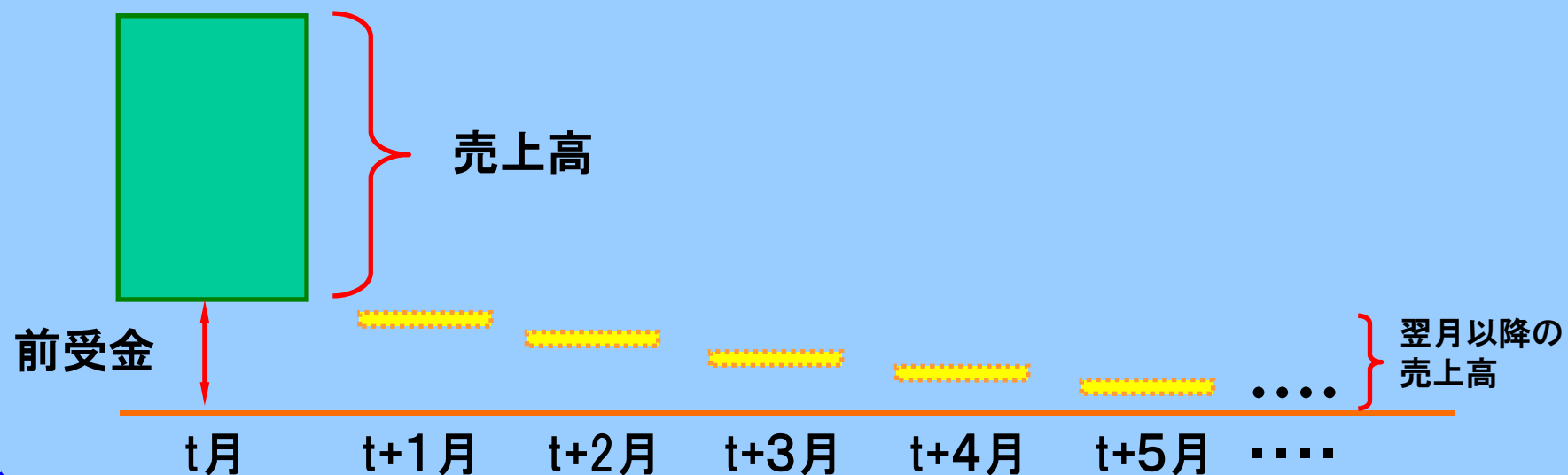
※「その他」には、通常の間接費などの未払金が含まれている。
  
- 平成21年3月期は本格的にこの会計区分変更が適用となるため、**販売済の保守サポート部分については、販売時点での売上計上はされず、同額が将来の売上を増加させる。**

# 売上区分変更による計上方法について(図説)

## 売上区分開始前



## 売上区分開始後



# 平成21年3月期 通期決算サマリー

<平成20年4月1日～平成21年3月31日>

---

DigitalArts.

# 平成21年3月期 通期決算サマリー(連結P/L)

平成21年3月期通期連結売上高(保守サポート売上高区分後)は、  
**18億5千2百万円**(対前年同期増減率約9%)、経常利益は**6億3千2百万円**(対前年同期増減率約2%)  
 となりました。

(単位:百万円)

連結	平成20年3月期		平成21年3月期			
	通期(実)		通期(実)			
	保守サポート売上高 区分前	保守サポート売上高 区分後	保守サポート売上高 区分前	対前年同期 増減率	保守サポート売上高 区分後	対前年同期 増減率
売上高	1,754	1,700	2,013	14.8%	1,852	8.9%
営業利益	676	622	790	16.8%	629	1.1%
経常利益	676	623	793	17.3%	632	1.5%
当期純利益	403	349	511	26.8%	350	0.3%

注:保守サポート売上高区分前の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益はプロフォーマベースのものです。  
 税金費用についても会計上の税金費用を適用しております。

※ 保守サポート売上高区分前:販売した保守料売上を含む売上(プロフォーマベース)

※ 保守サポート売上高区分後:保守料売上を除いた売上(会計上の数値)

## 参考)平成21年3月期 通期決算サマリー(単体P/L)

平成21年3月期通期単体売上高(保守サポート売上高区分後)は、  
**18億5百万円**(対前年同期増減率約9%)、経常利益は**6億6千4百万円**(対前年同期増減率約1%)  
 となりました。

(単位:百万円)

単体	平成20年3月期		平成21年3月期			
	通期(実)		通期(実)			
	保守サポート売上高 区分前	保守サポート売上高 区分後	保守サポート売上高 区分前	対前年同期 増減率	保守サポート売上高 区分後	対前年同期 増減率
売上高	1,702	1,650	1,960	15.1%	1,805	9.4%
営業利益	704	652	815	15.7%	660	1.3%
経常利益	711	659	819	15.2%	664	0.8%
当期純利益	438	385	544	24.2%	389	0.9%

注:保守サポート売上高区分前の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益はプロフォーマベースのものです。  
 税金費用についても会計上の税金費用を適用しております。

※ 保守サポート売上高区分前:販売した保守料売上を含む売上(プロフォーマベース)

※ 保守サポート売上高区分後:保守料売上を除いた売上(会計上の数値)

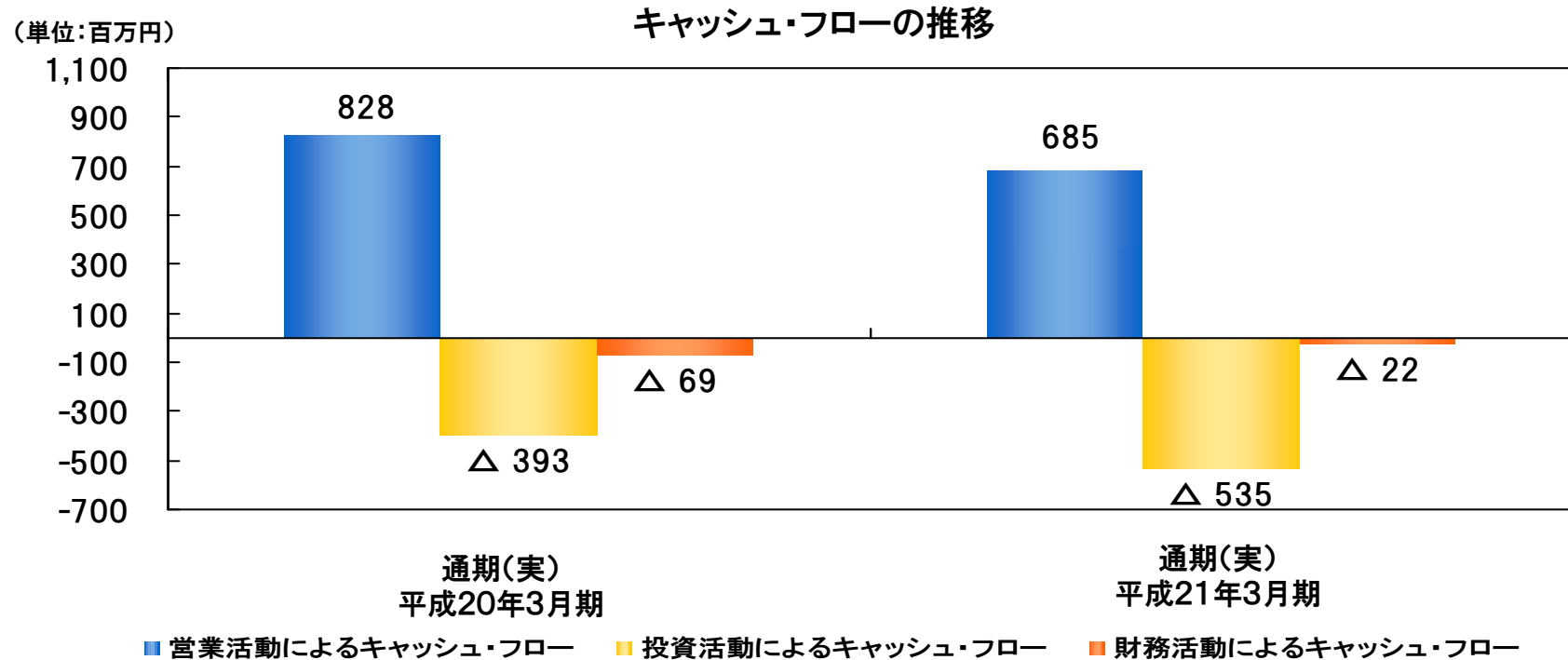
# 平成21年3月期 通期決算サマリー(連結B/S)

(単位:百万円)

連結	平成20年3月期	平成21年3月期		
	通期(実)	通期(実)	対前年同期 増減額	主な増減要因
現金及び預金	1,214	1,341	126	売上増に伴い現金回収増加
営業債権	556	503	△52	
棚卸資産	3	5	2	
その他	53	253	199	
流動資産合計	1,827	2,104	276	
有形固定資産合計	53	61	7	投資有価証券購入
無形固定資産合計	428	403	△24	
投資その他の資産合計	70	188	118	
固定資産合計	551	653	102	
資産合計	2,379	2,757	378	
買掛金	4	1	△2	銀行借入返済
短期借入金	25	-	△25	
その他	372	411	38	
流動負債合計	402	412	10	保守料未償却残高増加
負債合計	402	412	10	
純資産合計	1,977	2,345	367	純利益に伴う利益剰余金の増加
負債純資産合計	2,379	2,757	378	



# 平成21年3月期 通期決算サマリー(連結C/F)



# 平成21年3月期 通期市場別売上高(連結) -売上高区分前-

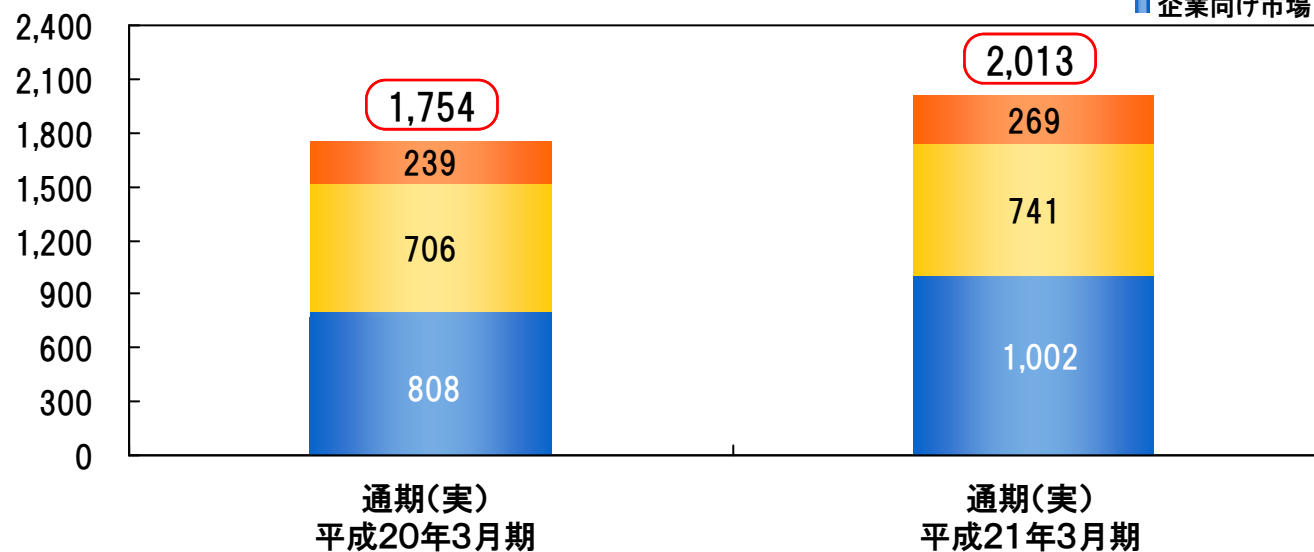
(単位:百万円)

連結	平成20年3月期	平成21年3月期			
	通期(実)	通期(予)	通期(実)	対前年同期 増減率	対予想 増減率
企業向け市場	808	1,012	1,002	24.3%	△0.9%
公共向け市場	706	746	741	4.8%	△0.6%
家庭向け市場	239	271	269	12.4%	△0.5%
合計	1,754	2,030	2,013	14.8%	△0.8%

(単位:百万円)

## 市場別売上高の推移(連結)

- 家庭向け市場
- 公共向け市場
- 企業向け市場



# 平成21年3月期 通期市場別売上高(連結) -売上高区分後-

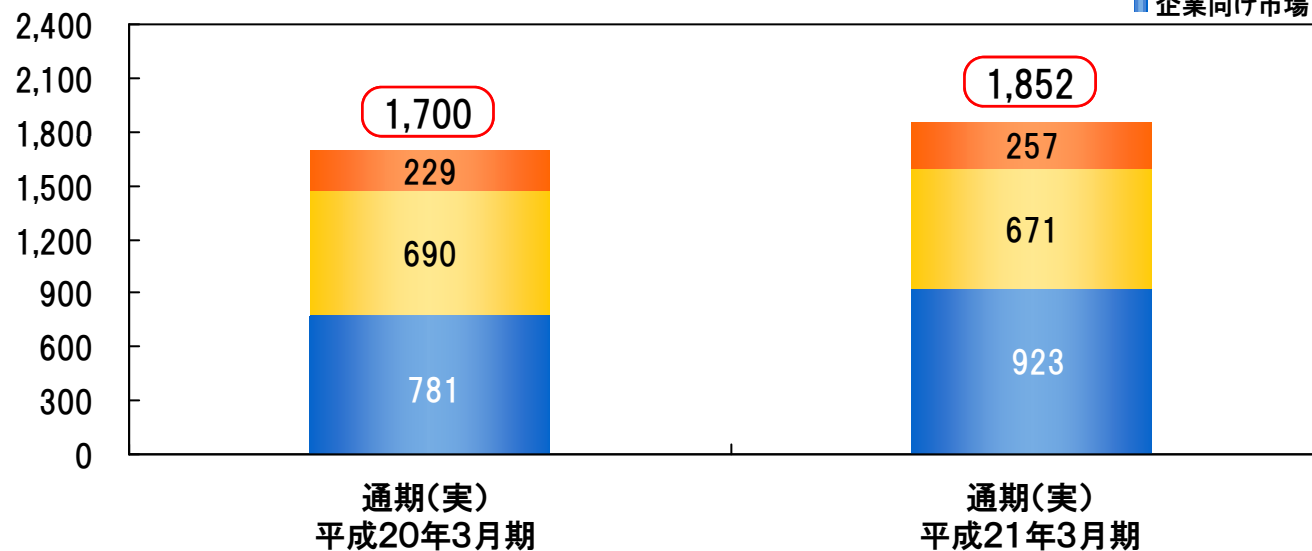
(単位:百万円)

連結	平成20年3月期	平成21年3月期			
	通期(実)	通期(予)	通期(実)	対前年同期 増減率	対予想 増減率
企業向け市場	781	935	923	18.2%	△1.3%
公共向け市場	690	679	671	△2.7%	△1.0%
家庭向け市場	229	255	257	12.4%	1.1%
合計	1,700	1,870	1,852	8.9%	△0.9%

(単位:百万円)

## 市場別売上高の推移(連結)

- 家庭向け市場
- 公共向け市場
- 企業向け市場



# 平成21年3月期 通期決算ハイライト

<平成20年4月1日～平成21年3月31日>

---

DigitalArts.

# 平成21年3月期 通期決算ハイライト

## ➤ 企業向け市場

- 景気の影響はあるものの、閲覧制限にとどまらず**内部統制や情報漏洩対策への関心は継続的に高い**
- 市場のニーズに一層対応した、「**i-FILTER Ver.7**」と「**m-FILTER Ver.2.5**」の発売開始
  - アクセスログの分析・保管の面で「i-FILTER」の販売が順調に推移
  - 誤送信防止機能・データコンバート機能の追加、アーカイブ機能の簡略化を実現した「m-FILTER Ver.2.5」も好評

## ➤ 公共向け市場

- セキュリティ対策が未整備な教育機関への販売を継続
- IT化を進め、情報漏洩対策に積極的な**地方自治体や官公庁への販売を推進**

## ➤ 家庭向け市場

- インターネットの不適切な利用による未成年者に関する犯罪の発生は増加
- 政府の**フィルタリングを主軸とした有害情報対策の取り組みの強化や法律の成立**
- 平成20年2月に大幅に機能を強化した「**i-フィルター 5.0**」は、法律成立も相まって、**大手家電量販店などの店頭での販売が好調に推移**
- ISPも、キャンペーン効果などにより**Webフィルタリングサービス加入者が増加**
- 家庭向けパソコンへのバンドルメーカーも、2社増加

# 平成21年3月期 通期 主なトピックス(1)

## ▶ 企業および公共向け市場

### ● 新製品



2009/03/16 **電子メールフィルタリングソフト「m-FILTER Ver.2.5」を発売**  
誤送信防止機能・データコンバート機能の追加、アーカイブ機能の簡略化を実現



2008/09/09 **Webフィルタリングソフトの最新版「i-FILTER Ver.7」を発売**  
社内導入システムの運用監査に初対応、国産最多の94カテゴリ実装



2008/07/08 **デジタルアーツ、「Digital Arts Filtering Suite」を発売**  
Webと電子メール、双方の運用課題に対応するフィルタリングスイート



2008/06/17 **電子メールフィルタリングソフト「m-FILTER Ver.2」を発売**  
POP対応などの新機能追加や機能強化、中小から大規模まであらゆる企業に対応



2008/04/15 **Webフィルタリングソフトの新製品「i-FILTER Info Board」を発売**  
Webブラウザを利用して、社内連絡や通達を効率的に行う新機能

### ● 提携・提供



2009/03/25 **電子メールフィルタリングソフト「m-FILTER」の技術をNTTコミュニケーションズへ提供**  
保存電子メール管理に向け「m-FILTER」の技術をOCNの企業向けサービスへ提供



2009/02/03 **Webフィルタリングソフト「i-FILTER」をIJへ提供**  
「i-FILTER」のフィルタリングエンジンを企業のWebセキュリティ環境保護向けに提供



2009/01/23 **電子メールフィルタリングソフト「m-FILTER」のアーカイブ機能をソニーに提供**  
中堅・中小企業における保存電子メール管理の簡素化に向け bit-driveへ提供












2008/12/05 **Webフィルタリングの技術を富士ゼロックス「beat/entryサービス」に提供**  
小規模な事業所がより導入しやすい形でのWebフィルタリングサービス提供

# 平成21年3月期 通期 主なトピックス(2)

## ➤ 家庭向け市場

### ● 新製品・提携・提供一覧

-  2009/03/23 **バッファローのルーター製品に「iフィルター」の提供開始**  
家庭用ルーターにて、かんたんな設定でインターネットの不適切な情報をブロック
-  2009/02/26 **マカフィーと「iフィルター」の協業開始**  
ウイルス対策ソフトとのセット販売により、家庭向けのWebセキュリティ対策を同時提供
-  2009/01/29 **パナソニック「レッツノート」シリーズに「iフィルター」が標準搭載**  
「iフィルター」は大手の国産パソコンメーカー製の家庭向けパソコンすべてに搭載を達成
-  2009/01/19 **富山県を主対象とする4つのISPで同時採用**
-  2008/10/31 **ニンテンドーDSiブラウザ向けにWebフィルタリングサービス提供開始**
-  2008/10/27 **北陸電力グループの「FITWeb」で採用**
-  2008/09/25 **イージェーワークスが運営する7つのISPで同時採用**
-  2008/09/17 **オンキヨーのパソコン「SOTEC」ブランド新製品に「iフィルター」が標準搭載**
-  2008/07/18 **群馬県のISP「群馬インターネット」で採用される**

# 平成21年3月期 通期 主なトピックス(3)

## ➤ PR活動



2009/03/06 **5省庁連携の、「青少年インターネット環境整備法」周知キャンペーンに協賛**  
法律の周知によりインターネットを利用する子どもたちを守る意識を啓もう



2008/11/12 **CMPテクノロジージャパン主催の「Email Security Expo & Conference 2008」に出展**  
メールフィルタリングの重要性や、その効果的な導入方法を広く訴求



2008/08/20 **日経BP社主催の「Security Solution 2008」に出展**  
Webとメールフィルタリングの重要性や、その効果的な導入方法を広く訴求



2008/08～ **つかってよかった！「i-フィルター」キャンペーンを実施**  
「お客さまの声と親子画像」を事例として当社Webと夕刊フジ紙面上でご紹介



2008/05/30 **経済産業省が主催するフィルタリング普及啓発キャンペーンに参加**  
官民が一丸となって、フィルタリング認知度向上に向けたキャンペーン展開



2008/04～ **製品を広く訴求するための広告展開を月次で実行**  
東洋経済、日経産業、日経ガバメントテクノロジー、日経BP、日経コンピュータに掲載

## ➤ その他

2008/06/11 **「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律」**  
青少年有害情報の閲覧防止措置としてフィルタリングの提供が、携帯電話、PC等のインターネット接続機器、ISPで義務付け(2009年4月1日より施行)



# 平成21年3月期 配当

## ➤ 配当について

- 株主の皆様に対する利益還元につきましては、以下を予定しています。

平成21年3月期の目標配当性向を連結当期純利益の約10.7%

平成21年3月期年間剰余金配当予定額を1株当たり272円

(単位:円)

(基準日)	1株当たり配当金		連結配当性向
	期 末	年 間	
平成20年3月期(実績)	0	0	0.0%
平成21年3月期(予定)	272	272	10.7%

# 平成22年3月期業績予想

<平成21年4月1日～平成22年3月31日>

---

*DigitalArts.*

# 企業・公共向け市場におけるWebフィルタリング市場環境認識

## ▶ Webフィルタリングソフト「i-FILTER」ユーザーシェア1位を獲得

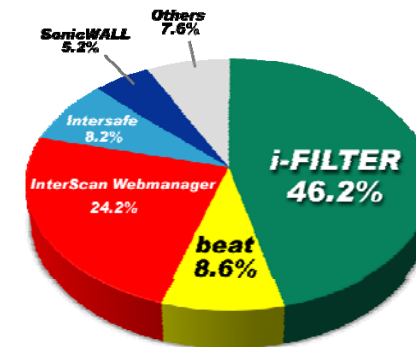
4,670社の有効回答のうち、ソフトウェア・ハードウェアの形態でWebフィルタリングソフトを利用している企業・団体は26.8%(1,253社)。うち、製品名が判明している937社の**46.2%**(433社)が「i-FILTER」を利用しています。

また、Webフィルタリング利用率は業種別・規模別に示しているように、全体で26.8%にとどまっており、**市場拡大の余地は大きい**。

### ▶ 製品別シェア

※N=937

メーカー名、製品名	製品シェア※
<b>デジタルアーツ「i-FILTER」</b>	<b>46.2%</b> 
トレンドマイクロ「InterScan WebManager」	24.2%
<b>富士ゼロックス「beat」</b>	<b>8.6%</b>
アルプスシステムインテグレーション「InterSafe」	8.2%
ソニックウォール「SonicWALL PRO 200/1260」	5.2%
その他	7.6%



### ▶ 業種別の導入率・シェア

※N=937

業種名	総調査内訳	フィルタリング利用率	当社シェア※
製造	1,569	22.1%	43.5%
建設・工事	245	29.8%	39.6%
流通	671	18.0%	42.1%
サービス・公益	791	20.0%	38.7%
金融・証券保険	70	35.7%	60.0%
自治体・公共	659	63.4%	52.1%
病院	560	12.6%	49.0%
その他	51	36.2%	40.0%
<b>全体</b>	<b>4,670</b>	<b>26.8%</b>	<b>46.2%</b>

※フィルタリング利用率:各業種のWebフィルタリング利用率を示します  
当社シェア:各業種に占める当社製品シェアを示します

### ▶ 規模別の導入率・シェア

※N=937

従業員規模	総調査内訳	フィルタリング利用率	当社シェア※
100~299人	2,503	22.3%	42.1%
300~499人	1,026	26.7%	49.0%
500~999人	803	34.4%	47.1%
1,000人以上	338	42.3%	55.0%
<b>全体</b>	<b>4,670</b>	<b>26.8%</b>	<b>46.2%</b>

※フィルタリング利用率:各従業員規模のWebフィルタリング利用率を示します  
当社シェア:各従業員規模に占める当社製品シェアを示します

※ミック経済研究所「情報漏洩防止型セキュリティソリューションのユーザー導入実態調査 2008年度版」より

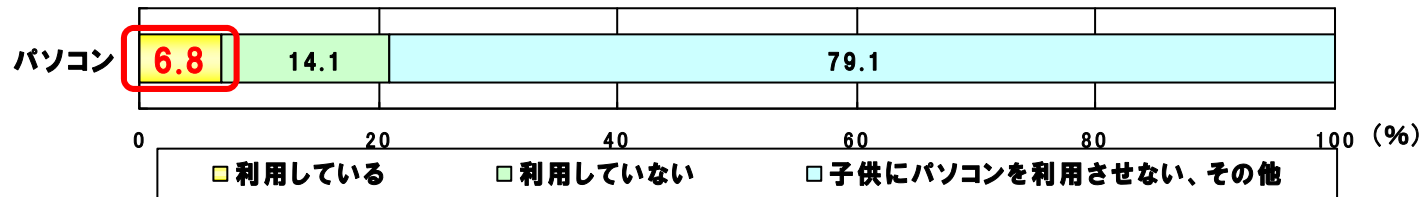
# 家庭向け市場におけるWebフィルタリング市場環境認識

## ▶ 家庭におけるWebフィルタリングソフトの利用率は10%前後

家庭におけるフィルタリングの認知は様々な調査で向上していると報告されるものの、実際の利用率は10%前後であり**市場拡大余地は大きい**。その一方、利用しない理由は、「**自分の子供に対する強い性善意識**」や「**PC・WEBに対するリテラシや意識の低さ**」が主であり、インターネットには光の側面がある半面、影の側面がある事を多くの保護者が理解していない。

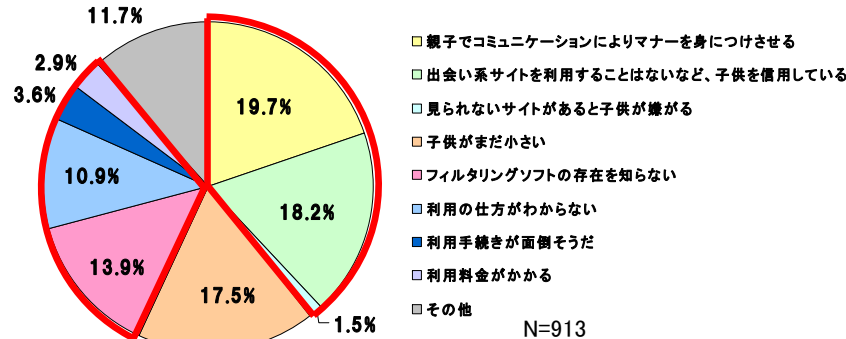
### ▶ 家庭のパソコンでのフィルタリング利用状況

N=913 (複数回答可)



※総務省「平成19年度 電気通信サービスモニターに対する第2回アンケート調査」より

### ▶ フィルタリングを利用しない理由

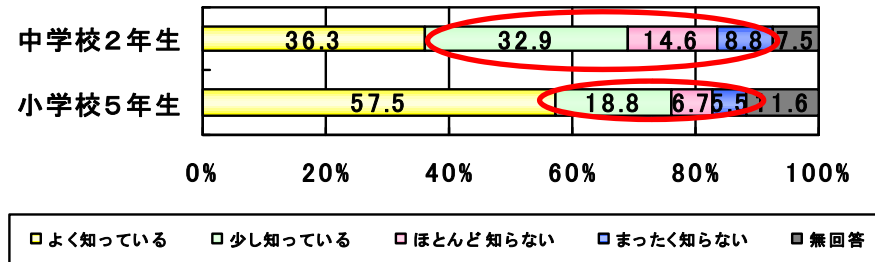


N=913

※総務省「平成19年度 電気通信サービスモニターに対する第2回アンケート調査」より

### ▶ 保護者と子供の認識

親は、あなたがインターネットをどのように利用しているか知っていますか？



※ 日本PTA全国協議会「子どもとメディアに関する意識調査」平成20年3月

### ▶ インターネット上の違法・有害情報の通報状況



インターネット上の違法・有害情報の通報件数は**増加**(前年比約1.6倍)

平成20年 135,126件(月平均11,260件)

平成19年 84,964件(月平均7,080件)

※警察庁「平成20年のインターネット・ホットラインセンターの運用状況」平成21年3月19日

# 平成22年3月期 通期業績予想サマリー(連結P/L)

平成22年3月期連結売上高(保守サポート売上高区分後)は、  
**20億4千万円**(対前年同期増減率約10%)、**経常利益は6億3千7百万円**(対前年同期増減率約1%)  
 の予想です。今後、何らかの変化がある場合は、適切に開示してまいります。

(単位:百万円)

連結	平成21年3月期		平成22年3月期			
	通期(実)		通期(予)			
	保守サポート売上高 区分前	保守サポート売上高 区分後	保守サポート売上高 区分前	対前年同期 増減率	保守サポート売上高 区分後	対前年同期 増減率
売上高	2,013	1,852	2,200	9.2%	2,040	10.1%
営業利益	790	629	793	0.3%	633	0.6%
経常利益	793	632	797	0.4%	637	0.7%
当期純利益	511	350	514	0.4%	354	0.9%

注:保守サポート売上高区分前の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益はプロフォーマベースのものです。  
 税金費用についても会計上の税金費用を適用しております。

※ 保守サポート売上高区分前:販売した保守料売上を含む売上(プロフォーマベース)

※ 保守サポート売上高区分後:保守料売上を除いた売上(会計上の数値)

## 参考)平成22年3月期 通期業績予想サマリー(単体P/L)

平成22年3月期単体売上高(保守サポート売上高区分後)は、  
**20億4百万円**(対前年同期増減率約12%)、**経常利益は6億7千3百万円**(対前年同期増減率約1%)  
 の予想です。

(単位:百万円)

単体	平成21年3月期		平成22年3月期			
	通期(実)		通期(予)			
	保守サポート売上高 区分前	保守サポート売上高 区分後	保守サポート売上高 区分前	対前年同期 増減率	保守サポート売上高 区分後	対前年同期 増減率
売上高	1,960	1,805	2,160	10.2%	2,004	11.0%
営業利益	815	660	826	1.2%	670	1.4%
経常利益	819	664	829	1.1%	673	1.3%
当期純利益	544	389	553	1.5%	397	1.9%

注:保守サポート売上高区分前の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益はプロフォーマベースのものです。  
 税金費用についても会計上の税金費用を適用しております。

※ 保守サポート売上高区分前:販売した保守料売上を含む売上(プロフォーマベース)

※ 保守サポート売上高区分後:保守料売上を除いた売上(会計上の数値)

# 平成22年3月期 通期市場別売上高(連結) -売上高区分後-

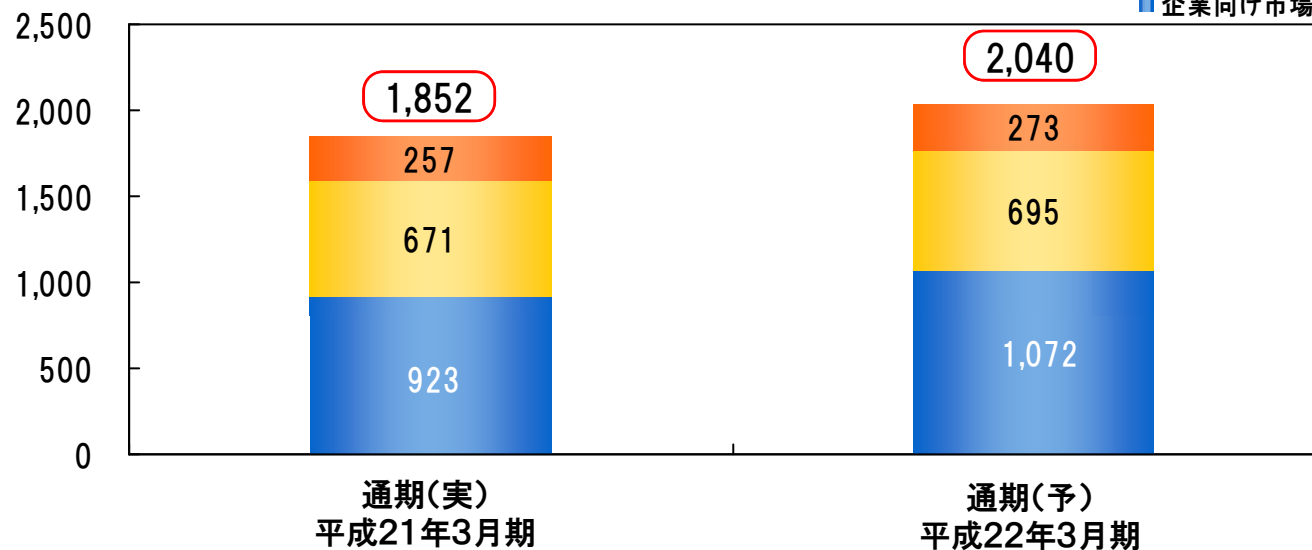
(単位:百万円)

連結	平成21年3月期	平成22年3月期	
	通期(実)	通期(予)	対前年同期 増減率
企業向け市場	923	1,072	16.2%
公共向け市場	671	695	3.5%
家庭向け市場	257	273	6.0%
合計	1,852	2,040	10.1%

(単位:百万円)

## 市場別売上高の推移(連結)

- 家庭向け市場
- 公共向け市場
- 企業向け市場



# 平成22年3月期 通期業績予想まとめ(連結)

(単位:百万円)

連結	平成21年3月期		平成22年3月期			
	通期(実)		通期(予)			
	保守サポート売上高 区分前	保守サポート売上高 区分後	保守サポート売上高 区分前	対前年同期 増減率	保守サポート売上高 区分後	対前年同期 増減率
売上高	2,013	1,852	2,200	9.2%	2,040	10.1%
売上原価	387	387	426	9.9%	426	9.9%
売上総利益	1,626	1,465	1,774	9.1%	1,614	10.2%
販売費及び一般管理費	835	835	981	17.4%	981	17.4%
営業利益	790	629	793	0.3%	633	0.6%
経常利益	793	632	797	0.4%	637	0.7%
当期純利益	511	350	514	0.4%	354	0.9%



# 平成22年3月期 配当計画

## ➤ 配当について

- 株主の皆様に対する利益還元につきまして、以下の通り計画しています。

平成22年3月期の目標配当性向を連結当期純利益の約10.8%

平成22年3月期年間剰余金配当予想額を1株当たり275円

(単位:円)

(基準日)	1株当たり配当金		連結配当性向
	期 末	年 間	
平成21年3月期(予定)	272	272	10.7%
平成22年3月期(予想)	275	275	10.8%

## 記述に関するご注意

本プレゼンテーション資料に記載されている計画、戦略、財務的予測のうち歴史的事実でないものは、将来の見通しに対する記述であり、当社経営陣が現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、環境等の変化により大きく見通しの変動する可能性があります。今後、何らかの変化がある場合は、適切に開示してまいります。

本プレゼンテーションの基本的な数値の記載は、一部を除き百万円未満を切り捨てて表示しております。

デジタルアーツ/DIGITAL ARTS、アイフィルター/i-フィルター/i-FILTER、m-FILTERは デジタルアーツ株式会社の登録商標です。



**より便利な、より快適な、より安全な  
インターネットライフに貢献して行く**

**[www.daj.jp](http://www.daj.jp)**